

**(43)Date of publication of application : 04.10.2002**

H01M 8/04  
H01M 8/10

(72)Inventor : KOBAYASHI TOMOKI  
NUTANI YOSHIO

[illegible]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-289232

(P2002-289232A)

(43) 公開日 平成14年10月4日 (2002.10.4)

(51) Int.Cl.  
H01M 8/04

識別記号

F I  
H01M 8/04

キーワード(参考)

K 5H026  
N 5H027  
T

8/10

8/10

審査請求 未請求 請求項の数4 OL (全10頁)

(21) 出願番号 特願2001-92214(P2001-92214)

(22) 出願日 平成13年3月28日 (2001.3.28)

(71) 出願人 000005326

本田技研工業株式会社

東京都港区南青山二丁目1番1号

(72) 発明者 小林 知樹

埼玉県和光市中央1丁目4番1号 株式会  
社本田技術研究所内

(72) 発明者 樋谷 芳雄

埼玉県和光市中央1丁目4番1号 株式会  
社本田技術研究所内

(74) 代理人 100064414

弁理士 磯野 道造

Fターム(参考) 5H026 AA06

5H027 AA06 BA13 KK31 KK44 MM03

MM08

(54) 【発明の名称】 燃料電池に供給される供給ガスの温度制御装置

(57) 【要約】

【課題】 燃料電池が低負荷状態で運転されている場合であっても、加湿器の温度を一定温度に維持することにより、加湿器が本来の加湿性能を発揮できるようにする。

【解決手段】 温度制御装置GS1は、燃料電池1に対して供給ガスAを供給するコンプレッサ22を有する。コンプレッサ22と燃料電池1との間には、供給ガスAを流す主通路W1が形成され、主通路W1には、供給ガスAを加湿する加湿器23が設けられている。また、加湿器23に供給される供給ガスAの熱量を調整する熱量調整手段として、バイパス通路W2および流量調整弁25が設けられている。

